

製品名: PPAR ガンマウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab03836**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 58 kDa; Observed MW: 58 kDa

抗原情報

遺伝子名	PPARG C1MT1; GLM1; NR1C3; Nuclear receptor subfamily 1 group C member 3; Peroxisome proliferator activated nuclear receptor gamma variant 1; Peroxisome proliferator activated receptor gamma 1; Peroxisome Proliferator Activated Receptor gamma; Peroxisome proliferator-activated receptor gamma; PPAR gamma; PPAR-gamma; PPARG; PPARG_HUMAN; PPARG1; PPARG2; PPARgamma.
別名	
遺伝子 ID	5468
SwissProt ID	P37231
免疫原	ヒト PPAR ガンマの合成ペプチド

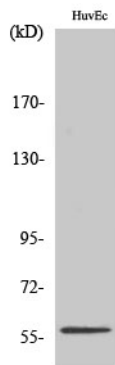
背景

脂質低下薬や脂肪酸などのペルオキシソーム増殖因子に結合する受容体。リガンドによって活性化されると、この受容体はアシル CoA 酸化酵素遺伝子のプロモーター領域に結合し、その転写を活性化する。これにより、脂肪酸のペルオキシソーム β 酸化経路を制御する。脂肪細胞の分化とグルコース恒常性の重要な調節因子である。

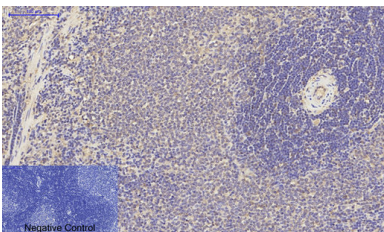
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



PPAR ガンマ抗体を使用した HuvEc 溶解物中の PPAR ガンマのウェスタン ブロット分析



PPAR γ 抗体を用いたパラフィン包埋ラット脾臓組織の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。右側はブロッキングペプチドを添加したサンプル。